

お知らせ

皆さんの夢を叶え、未来の子どもたちに引き継ぐ「まちの顔」に

新発田駅前複合施設の建設工事の進捗状況をお知らせします

■問合せ先Ⅱ企画政策課新発田駅前複合施設建設室（☎22・3101）

建物の建設工事を進めています

新発田駅前複合施設の建設工事は、周辺の地盤への



影響を抑えるための山留工事や、建物の基礎となる約50本の杭の打設工事が終了しました。今後は、5月頃まで建物の基礎工事を進めていく予定です。

建設現場の様子は、市ホームページで随時お知らせします。

仮囲いに子どもたちの絵画を展示しています

昨年の秋に市立図書館が実施した、「ぼくとわたしの読書感想画展」に出展された子どもたちの絵画を、



仮囲いに展示しています。子どもたちの活気あふれる絵画が駅前を華やかに彩っていますので、ぜひご覧ください。

仮囲いには、施設の完成予定図も掲示しています。



お知らせ

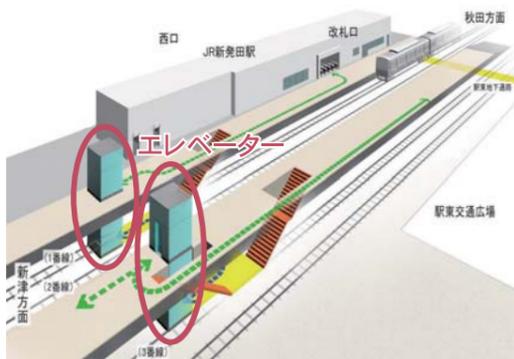
どなたでも利用しやすい駅を目指して

新発田駅改札内のエレベーターが完成しました

■問合せ先Ⅱ都市整備課駅周辺整備係（☎26・3555）

平成25年度から行われていた新発田駅のエレベーターの工事が2月末に完了し、使用が開始されました。

エレベーターは、改札内の上り・下りホームの地下通路脇に1基ずつ設置されています（左図）。これにより、高齢者や障がいのある方、ベビーカーを利用している方など、どなたでも簡単にホーム間を移動できるようになりました。



お知らせ

3月は「自殺対策強化月間」です

■問合せ先Ⅱ健康推進課地域保健第2係（☎22・3101）

自殺は他人事ではなく、あなたの周りでも起こり得ることです。自殺で亡くなる方の多くは、事前にうつ病などのこころの病にかかっているといわれていますが、そこに至るまでには失業や借金などの経済的問題、家族や職場での人間関係、過労など、さまざまな要因が複雑に絡み合っていると指摘されています。

人の「いのち」は何ものにも代えられません。大切な命をみんなで支えて守りましょう。

午後10時
▼新潟県こころの相談ダイヤル（☎0570・783・025）

【3月6日 午前8時30分～午後5時15分】
【祝日及び年末年始を除く、月々金曜日の午前8時30分～午後5時15分】
▼県新発田地域振興局地域保健課（☎26・9133）
▼新潟県下越地域のこころの支援センター（☎28・8880）
▼市健康推進課（☎22・3101）

【3月6日 午前8時30分～午後5時15分】
▼新潟いのちの電話（☎025・288・4343。毎月10日の午前8時～翌日午前8時はフリーダイヤル☎0120・738・556も利用できます）
さまざまなお悩みごとの相談窓口をまとめた「こころのセーフティネット相談窓口一覧」は、県ホームページでご覧いただけます。

「眠れない」「人に会いたくない」「憂うつな気分や沈んだ気分になる」など、こころの不調が2週間以上続くようなら、一人で抱え込まず、誰かに相談してください。また、あなたの大切な人の様子が「いつもと違う」「何か悩みを抱えているようだ」と感じたら、勇気をもって声をかけ、相談窓口を紹介してあげてください。

こころの温度を測ってみませんか
「こころの体温計」では、簡単な質問に答えるだけで、こころの状態を確認できます。金魚や猫が、あなたのストレス度や落ち込み度を表示します。
市ホームページまたは二次元バーコードで携帯電話からご利用ください。

お知らせ

「現行の額で据え置くことが適当」との答申 新発田市特別職報酬等審議会の審議結果を報告します

■問合せ先Ⅱ人事課給与係（☎22・3101）

1月15日に、「新発田市特別職報酬等審議会」が開催されました。

審議会では、現在の社会経済情勢、市の財政状況、県内他市の状況、公務員給与の動向などを踏まえ、慎重に審議が行われました。

その結果、直面する人口減少や都市間競争の激化など、当市を取り巻く環境は厳しさを増している状況であり、果たすべき職務・職責がこれまでにも増して高度で複雑化している実態を踏まえ、市議会議員、市長及び副市長のいずれも「現行の額で据え置くことが適当」と結論づけられました。

議員の報酬月額、市長及び副市長の給料月額は次のとおりです。

区分	報酬・給料月額
議長	49万8000円
副議長	42万8000円
議員	39万6000円
市長	66万3600円 (94万8000円)
副市長	61万8800円 (72万8000円)

※（ ）内は減額前の給料。